

医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）
事後評価結果

1. 研究開発課題名 : 「Connected in Fukushima」地域と立場の壁を超え、安全性評価を軸に、共に体感し推進する国内唯一の医療機器開発拠点整備
2. 研究開発代表者氏名（所属） : 小林 利彰（一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構）

<評価コメント>

広域な連携体制を整え、開発初期から事業化までを一貫して支援する拠点として着実に実績を積み上げた点は高く評価できる。一方で自立化という意味で、独自の強みを活かした、収益性の向上を期待する。

以上